



平成29年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月6日

上場会社名 アース製薬株式会社
 コード番号 4985 URL <http://www.earth-chem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川端 克宜
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営統括部統括部長 (氏名) 三枚堂 正悟
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5207-7458

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	145,984	6.3	10,619	15.3	10,986	12.3	6,662	14.7
28年12月期第3四半期	137,282	3.5	12,537	2.4	12,531	0.5	7,806	9.3

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 7,617百万円 (4.2%) 28年12月期第3四半期 7,311百万円 (6.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	329.90	
28年12月期第3四半期	386.54	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	121,720	53,513	39.5
28年12月期	107,366	49,192	40.5

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 48,079百万円 28年12月期 43,520百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		115.00	115.00
29年12月期		0.00			
29年12月期(予想)				115.00	115.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	181,700	7.8	4,600	17.1	5,000	16.5	2,000	40.6	99.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期3Q	20,200,000 株	28年12月期	20,200,000 株
期末自己株式数	29年12月期3Q	4,538 株	28年12月期	4,421 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期3Q	20,195,511 株	28年12月期3Q	20,195,709 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済について、個人消費は緩やかに持ち直し、企業収益も改善するなど、国内景気は緩やかな回復基調を続けています。また、海外において、当社グループが展開に注力するアジア地域では、タイ・中国でそれぞれ景気に持ち直しの動きが見られ、当面この動きが続くと見込まれる状況です。

このような経済状況のなか、当社グループは新たな経営理念「生命と暮らしに寄り添い、地球との共生を実現する。」のもと「お客様目線による市場創造」を重視しており、現在進行中の中期経営計画では『海外展開の強化』『グループシナジーの最大化』『収益力の向上』に加え、従来からの取り組みを発展・強化することをテーマに掲げ、中期経営目標“2020年連結売上高2,000億円、連結経常利益150億円の達成”に向けて、成長力と収益性の双方を高める経営を進めています。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績については、主力の虫ケア用品*が国内では市場の低調な推移により伸び悩んだものの、海外で順調に売上を拡大したこと、また口腔衛生用品や入浴剤といった日用品で新製品を中心に販売を伸ばしたことなどにより、売上高は1,459億84百万円(前年同期比 6.3%増)となりました。一方、利益については売上増に伴い売上総利益は増加したものの、販売費及び一般管理費が増加したことが影響し、営業利益106億19百万円(同 15.3%減)、経常利益109億86百万円(同 12.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益66億62百万円(同 14.7%減)となりました。

なお、当社グループは虫ケア用品の売上構成比が高く、売上高が3月～7月に偏るといった季節性がある一方、人件費等の固定費は年間を通じてほぼ均等に発生するため、四半期毎の売上高や利益には相応の影響があります。

* 当社はこれまで「殺虫剤」と呼ばれていたカテゴリー名を「虫ケア用品」に改めました。

セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

[家庭用品事業]

家庭用品事業におきましては、日本国内において新製品の発売や製品のリニューアル、デジタルを中心とした新規プロモーションの実施により市場の活性化に努めるとともに、収益力の向上に向けて経営課題である返品削減に関する取り組みを実施しました。また、海外ではタイ・中国を中心に経営資源を積極的に投入し売上規模の拡大に努めるほか、ベトナムにて家庭用品を製造販売するA MY GIA JOINT STOCK COMPANYを連結子会社に加えて新たな海外拠点とし、海外展開の強化を一層推進する取り組みを実施しております。

これらの取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間における当事業の業績について、売上高は1,349億93百万円(前年同期比 6.5%増)となりましたが、販売促進費が増加したことが影響し、セグメント利益(営業利益)は97億25百万円(同 11.0%減)となりました。

(家庭用品事業の業績)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
虫ケア用品部門	58,086	60,038	1,952	3.4%
日用品部門	63,055	68,481	5,426	8.6%
口腔衛生用品	27,199	29,292	2,093	7.7%
入浴剤	13,880	14,790	910	6.6%
その他日用品	21,976	24,398	2,422	11.0%
ペット用品・その他部門	5,618	6,473	854	15.2%
売上高合計	126,760	134,993	8,233	6.5%
セグメント利益(営業利益)	10,927	9,725	△1,202	△11.0%

(注) 1. 売上高にはセグメント間及びセグメント内の内部売上高又は振替高が含まれており、金額は前第3四半期連結累計期間では5,820百万円、当第3四半期連結累計期間では6,714百万円です。

2. 第1四半期連結会計期間より販売区分について内訳を一部変更いたしました。なお、前第3四半期連結累計期間の表記については、変更後の表示基準に沿っています。

3. 当社は、これまで「殺虫剤」と呼ばれていたカテゴリー名を「虫ケア用品」に改めました。これに伴い、従来の殺虫剤部門としていた表記を虫ケア用品部門としております。

部門別の主な状況は次のとおりであります。

虫ケア用品部門

虫ケア用品部門において、国内市場は、過去2年と比べて3月～9月の月間平均気温が7月以外のすべての月で低めに推移したことが影響し、前年を下回る結果となりました。一方で、当社の市場シェア(自社推計)は57.0%(前年同期比 0.3ポイント増)となりました。

このような状況のなか、ゴキブリ用毒餌剤『ブラックキャップ』が好調に売上を伸ばし、また新製品のゴキブリ殺虫スプレー『ゴキブッシュプロ』も売上に寄与しましたが、低調な市場の影響によりハエ・蚊用の売上が前年を下回りました。

一方、海外販売においては、タイ・中国を中心に積極的な販売促進施策を実施したことが奏功し、現地通貨ベース、円換算ベースとも伸長しました。

以上の結果、当部門全体の売上高は600億38百万円(前年同期比 3.4%増)となりました。

日用品部門

口腔衛生用品分野においては、新製品の洗口液『モンダミン プレミアムケア センシティブ』が売上に寄与したことに加え、知覚過敏予防ハミガキ『シュミテクト』が引き続き順調に売上を伸ばしたことで、売上高は292億92百万円(前年同期比 7.7%増)となりました。

入浴剤分野においては、錠剤タイプの『温泡』が順調に売上を伸ばしたほか、粒剤タイプの『きき湯』のリニューアル及びアイテム追加が奏功したことで、9月末時点における当社グループの市場シェア(自社推計)は49.2%(前年同期比 0.9ポイント増)と伸長し、売上高は147億90百万円(同 6.6%増)となりました。

その他日用品分野においては、消臭芳香剤『スッキーリ!』や保冷剤『アイスノン』シリーズが売上を伸ばしました。また、海外では住居用洗剤等を取り扱うA MY GIA JOINT STOCK COMPANYを新規に連結したことや、タイでは芳香剤、中国において除湿剤、マスクを中心に売上を伸ばしたことなどにより、売上高は243億98百万円(同 11.0%増)となりました。

以上の結果、当部門の売上高は684億81百万円(同 8.6%増)となりました。

ペット用品・その他部門

ペット用品・その他部門においては、前年11月に連結子会社化した旧ジョンソントレーディング(株)による売上寄与などにより、売上高は64億73百万円(前年同期比 15.2%増)となりました。

[総合環境衛生事業]

総合環境衛生事業におきましては、主要な顧客層である食品関連工場、医薬品・化粧品関連工場、包材関連工場が、原料やエネルギーコスト高、工場の統廃合などを背景にコスト削減への動きを強くする一方で、昨今の食品の異物混入事件や事故の発生により「安全・安心」に対する意識はさらに高まり、当事業が提供する高品質の衛生管理サービスへのニーズが高まる状況でありました。

このような状況のなか、将来の成長に向けて、国内では新設した彩都総合研究所を拠点に研究・技術開発や人材の教育訓練を進めるとともに、業務効率の改善を目的としたソフトウェア投資を行うことで、差別化された品質保証サービスを提供し、契約の維持・拡大に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当事業の売上高は177億94百万円(前年同期比 8.3%増)、セグメント利益(営業利益)は11億37百万円(同 3.6%減)となりました。

(総合環境衛生事業の業績)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	16,424	17,794	1,369	8.3%
セグメント利益(営業利益)	1,180	1,137	△42	△3.6%

(注) 売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれており、金額は前第3四半期連結累計期間では82百万円、当第3四半期連結累計期間では87百万円です。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べて143億53百万円増加し、1,217億20百万円となりました。これは、現金及び預金が減少したものの、売上債権が増加したことに加え、A MY GIA JOINT STOCK COMPANYの株式取得に伴いのれん等を計上したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間における負債は、前連結会計年度末に比べて100億32百万円増加し、682億6百万円となりました。これは主に、仕入債務、未払法人税等、返品調整引当金が増加したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間における純資産は、前連結会計年度末に比べて43億20百万円増加し、535億13百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことなどによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて1.0ポイント低下し、39.5%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しておりませんので、記載を省略しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年8月4日に公表した通期の業績予想に変更はありません。

なお、本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、様々な要因の変化により実際の業績とは大きく異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,979	8,333
受取手形及び売掛金	19,460	27,156
商品及び製品	16,997	17,471
仕掛品	1,088	865
原材料及び貯蔵品	5,073	3,969
繰延税金資産	1,231	1,840
その他	2,084	2,301
貸倒引当金	△31	△67
流動資産合計	57,884	61,871
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,276	27,794
減価償却累計額及び減損損失累計額	△12,116	△12,776
建物及び構築物(純額)	12,159	15,018
機械装置及び運搬具	10,539	13,616
減価償却累計額	△8,299	△8,882
機械装置及び運搬具(純額)	2,239	4,733
土地	7,887	7,917
リース資産	521	510
減価償却累計額	△253	△323
リース資産(純額)	267	187
建設仮勘定	4,418	127
その他	7,657	8,247
減価償却累計額	△6,198	△6,539
その他(純額)	1,458	1,707
有形固定資産合計	28,431	29,691
無形固定資産		
のれん	10,834	15,607
リース資産	19	14
その他	1,279	4,172
無形固定資産合計	12,132	19,795
投資その他の資産		
投資有価証券	5,828	6,886
退職給付に係る資産	2,339	2,509
繰延税金資産	28	27
その他	727	956
貸倒引当金	△6	△17
投資その他の資産合計	8,917	10,361
固定資産合計	49,482	59,848
資産合計	107,366	121,720

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,925	31,083
短期借入金	4,997	4,821
1年内返済予定の長期借入金	2,667	3,012
未払金	6,560	6,634
未払法人税等	1,415	3,926
未払消費税等	502	1,364
賞与引当金	483	1,247
返品調整引当金	825	3,260
その他	3,786	3,362
流動負債合計	47,165	58,713
固定負債		
長期借入金	7,838	5,716
繰延税金負債	1,065	1,888
役員退職慰労引当金	154	102
退職給付に係る負債	670	605
資産除去債務	430	432
その他	849	748
固定負債合計	11,008	9,493
負債合計	58,174	68,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,377	3,377
資本剰余金	3,168	2,923
利益剰余金	35,566	39,906
自己株式	△13	△14
株主資本合計	42,099	46,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,329	1,862
為替換算調整勘定	374	202
退職給付に係る調整累計額	△282	△179
その他の包括利益累計額合計	1,420	1,885
非支配株主持分	5,672	5,433
純資産合計	49,192	53,513
負債純資産合計	107,366	121,720

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	137,282	145,984
売上原価	83,255	88,621
売上総利益	54,026	57,363
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	4,140	4,232
広告宣伝費	7,241	7,849
販売促進費	7,334	9,678
貸倒引当金繰入額	△12	50
給料及び手当	8,803	9,493
賞与引当金繰入額	927	921
役員退職慰労引当金繰入額	13	13
旅費及び交通費	1,217	1,314
減価償却費	527	655
のれん償却額	1,431	1,647
地代家賃	742	810
研究開発費	1,941	1,960
その他	7,181	8,116
販売費及び一般管理費合計	41,489	46,743
営業利益	12,537	10,619
営業外収益		
受取利息	9	13
受取配当金	44	56
為替差益	—	65
受取ロイヤリティー	6	12
受取手数料	29	29
受取家賃	108	81
その他	185	216
営業外収益合計	383	476
営業外費用		
支払利息	59	66
為替差損	300	—
減価償却費	10	—
たな卸資産廃棄損	6	2
その他	11	39
営業外費用合計	389	109
経常利益	12,531	10,986

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	29	4
関係会社清算益	8	90
事業譲渡益	268	—
特別利益合計	306	95
特別損失		
固定資産売却損	1	5
固定資産除却損	28	53
投資有価証券評価損	32	—
特別損失合計	62	59
税金等調整前四半期純利益	12,775	11,023
法人税、住民税及び事業税	5,002	4,497
法人税等調整額	△498	△608
法人税等合計	4,504	3,889
四半期純利益	8,271	7,133
非支配株主に帰属する四半期純利益	465	471
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,806	6,662

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	8,271	7,133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△263	538
為替換算調整勘定	△712	△171
退職給付に係る調整額	16	116
その他の包括利益合計	△960	483
四半期包括利益	7,311	7,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,857	7,127
非支配株主に係る四半期包括利益	453	490

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。